



羅針盤

Market Forecasts by Y. san -12月-

鉄スクラップ

11月の東京製鉄宇都宮工場特級価格は55,000円/トンでスタートし、動きは少なく、29日時点変わらずです。このところ輸出商談の停滞が続いており、国内高・海外安。発生も低迷のため12月も横ばいでしょう。

銅

11月のLMEは8,000ドル/台、国内銅建値1,270,000円/トンでスタートし、27日はLME8,300ドル/トン台迄上昇。国内銅建値は2ヶ月振りに高値1,300,000円/トン。高値の原因は中南米鉱山ストの影響が大きい。12月は欧米経済の先行き不安もあり下がるでしょう。

アルミ

11月のスタートは、LMEで2,200ドル/トン。29日時点はほぼ変わらずです。12月は品薄状態のため下げは考えにくいでしょう。横ばいで進むと思われます。

産業廃棄物

廃棄物に関しては、一部の建廃業者以外はほとんどが品薄と嘆いています。金属全般高値が続いていますので、選別後のスクラップはくれぐれも安売りしないように。又、火災の発生も増えています。自社の選別体制はもちろん排出事業者への注意喚起もしっかり行わないと取り返しがつかなくなります。断る勇気も必要です。

Topics

～なくそう！リチウム蓄電池の火災～ キャンペーン

環境省は、Jリーグ公式戦でモバイルバッテリー回収キャンペーンを行ったこと。これは、Jリーグの公式戦会場に環境省ブースを作り、リチウム蓄電池を原因とする火災を防止しようというキャンペーンで、会場では、モバイルバッテリーの回収、パネル展示やスタジアムビジョンで呼びかけ映像の放映、チラシ配布などでした。詳細は次の環境省のホームページをご覧ください。 <https://www.gov-base.info/2023/11/07/206696>

行政からの広報では、以前よりリチウムイオン電池の発火についての喚起はしておりますが、未だに中間処理場等での火災原因の大きな割合を占めておりますので、このイベントによる効果は大きいと思います。普段何も考えずに、乾電池と同じように、普通ゴミとして廃棄しているかもしれない方々に、“発火の可能性のある物”という認識を持ってもらおう機会を、スポーツ観戦会場で知識として得られるということは大事なことで、この先もあらゆるイベント会場で開催してもらいたい行事の一つだと思います。

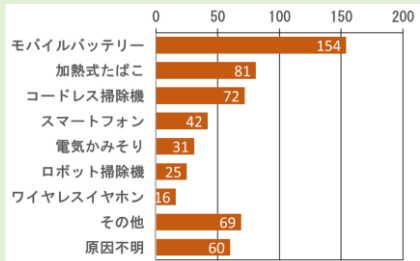
リチウムイオン電池が発火する原因は、外部から力が加わり電池が変形することで、正極と負極を隔てるセパレーターが損傷し、正極と負極が直接つながってしまう状態(内部短絡)になった時、この状態になると電流が集中し、温度が急激に上昇することで、発火することがあるようです。又、長期間使用していなかったリチウムイオン電池は、過放電が起こることがあり、電池内部の電極帯が劣化した状態で電気を流すと発熱して、可燃性ガスが発生し、短絡の火花で着火して火災に至ることがあるそうです。中間処理場やリサイクル施設での現場処理工程で、廃棄物の中に紛れたリチウムイオン電池が破砕機などで壊され、発火が起きると、それが周りの廃プラスチック等に引火するという事例が多発しており、本当に重大事故に繋がります。

リチウムイオン電池の構造や弱点を、個人個人が良く理解することで、災害防止を進めることができます。一人でも多くの方々に知識を持っていただくための運動の輪が広がるのが重要です。

環境省が令和3年度に実施した「市区町村における使用済小型電子機器等への取組状況に関する実態調査」の結果、二次電池に起因した火災が発生したと回答した255市町村では、モバイルバッテリーが154件(60.4%)と特に多かったとの結果でした。



リチウムイオン電池による発火工程図
出典元：(公財)日本容器包装リサイクル協会



出典元:環境省「リチウム蓄電池等処理困難物対策集(概要版)」
<https://www.env.go.jp/content/000124905.pdf>

11月予測の自己評価 鉄スクラップ;○ 銅;× アルミ;○

Series

「想い出のオーケストラ」



TML 業務部門 末永 愛深

初めまして、TML 業務管理部の末永です。羅針盤の連載担当のお話をいただきましたので、今回から隔月で4回ほどお付き合いください。よろしくお願ひいたします。とはいえ、どんなテーマが良いかな〜と考えましたが、今回は自己紹介も兼ねて、幼少期からお世話になっている市民オーケストラのお話をさせていただきます。私は東京都大田区生まれ大田区在住ですが、幼少期のころは東京の稲城市に住んでいた時期がありました。よみうりランドがあったり、梨が有名な場所です。

両親の趣味が演奏活動なのですが、当時、その両親の活動の拠点としていた楽団が稲城市にある市民オーケストラでした。ちょうど私が生まれた年(内緒です)に設立された楽団で、今でも「稲城フィルハーモニー管弦楽団」として稲城市をホームタウンに活動しています。子連れ参加がOKだったこともあり、両親に連れられて毎週の練習を見学させてもらっていました。母の話では私がお腹の中にいるときから参加していたとのこと。最初のころは、音楽よりもこの楽団で出会った他の楽団員の子供たちと遊ぶのが何よりも楽しみで、クラシック音楽の生音をBGMにポケモンカードで遊んだり、リハーサル中の観客席でかくれんぼをしたり、コントラバス(人の背より大きい弦楽器)の楽器カバーの中に潜り込んでお昼寝したり、子供のころはだいたいジャンチャをしていたと思います。

小学生に上がった頃から、母の薦めで楽団の指揮者の方にバイオリンを教えて頂いておりました。そのご縁で、両親や楽団員に混ざって定期演奏会に参加させて頂いたこともありまして、小学校2年生の時に初めて演奏に参加したベートーヴェンの交響曲第三番「英雄」とエルガーの「愛のあいさつ」の2曲は思い出の曲です。

思い返してみると、当時はまだ楽器を鳴らすこともやっつとで、大人用の椅子に座って地面に足もつかずに1時間位の交響曲を通して参加するのは、体力的にも技術的にも大変だったことを今でも覚えています。恐らくほとんど弾けていなかったと思うのですが、それでも、沢山の音の中で自分の音が綺麗に重なった瞬間の感動、楽しさは音楽の醍醐味だと思います。

さて、クラシック音楽の題名を見ても、あまりピンとこないかもしれませんが、曲を聴けばきっとどこかで聞いたことがあるフレーズもあるのではないのでしょうか。余談ですが、エルガーの愛のあいさつは、電話の保留音で使われることが多いので、事務の方はもしかしたらお客様等との通話時に聞いているのかもしれないですね。

両親は60代になった今でも現役で演奏活動を続けており、大田区在住ながら、昔からの馴染みで稲城市の楽団には欠かさず参加しています。私自身は最近では観客側でいることが殆どですが、今でも毎年2回の定期演奏会を聴きに行くのが楽しみの一つです。

もしクラシック音楽の演奏会にご興味のある方がいらっしゃいましたら、チケットをご用意いたしますのでお声がけください。では又・・・



編集メモ

*師走です。天候は相変わらず気まぐれな状況が続いており、寒暖も高低を行き来しています。とはいえもうすぐお正月ですね。寒くなりますと湿度の影響でしょうか、火災発生率も上がります。今号のトピックスではリチウムイオン電池由来の火災が増えているとお知らせしました。寒さに直接関係無しですが、寒風が吹く中で発火したら大変です。使用済みリチウムイオン電池の分別回収を忘れずに。*1月に心新たに計画した目標の達成率はいかがでしたか?まだ達成できていない方も、あとひと月残っています。ワールドカップの試合でも最後まで頑張ったら逆転勝利の道が開ける可能性を垣間見ましたね。北風吹く寒い中も心ひとつで温かくなる。それを信じて頑張りましょう。